

足の水虫をほうっておくと...



- 爪や体の他の部分に広がる可能性があります
- 他の人(家族など)にうつる可能性があります



水虫(足白癬)



小水疱型 足の裏や側面に小さな水ぶくれができます。



趾間型 足の指の間にできやすく、カサカサして乾燥しているタイプと、ジクジクしているタイプがあります。



角質増殖型 かかとを中心に足の裏の皮膚がかたく、厚くなります。

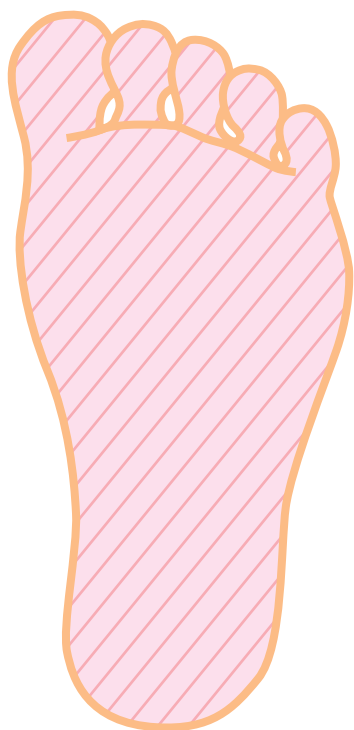
外用抗真菌薬を正しく塗って、足の水虫を撃退しましょう!



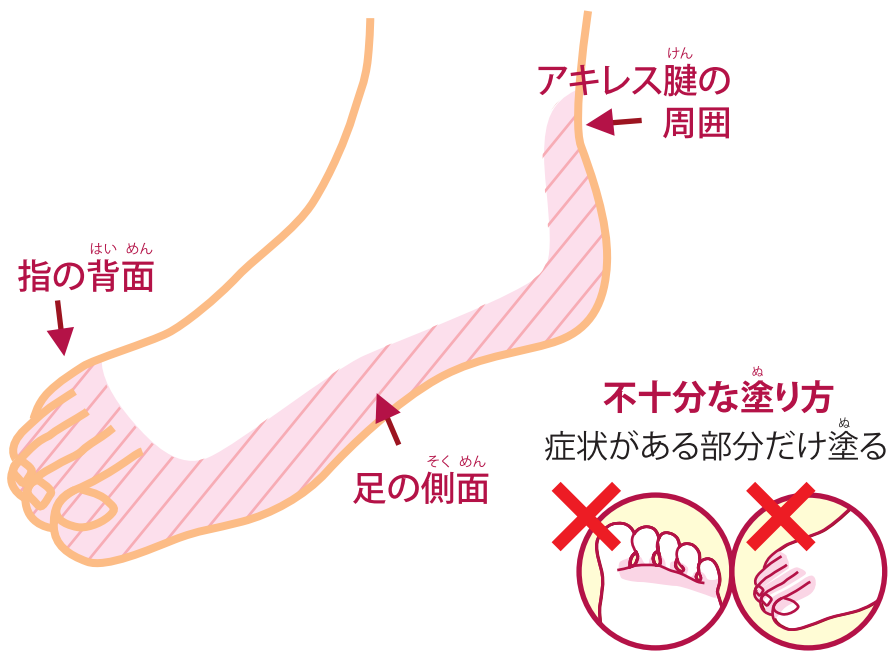
お薬は症状があるところより広めに塗りましょう。

水虫菌は症状がなくてもいます。両足の裏を中心に広くすき間なく塗るのが理想的です。足の指の間・背面、爪のまわり、足の側面、アキレス腱の周囲なども忘れずに。主治医の指示に従って、正しく塗りましょう。

お薬を塗る範囲 (↑ は特に塗り忘れの多いところ)



❗ お薬を塗る前に足をきれいに洗って乾かしましょう



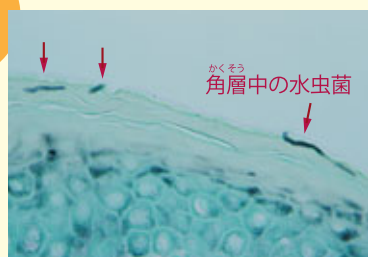
- 著しいびらん面にはお薬を使用しないでください。また、亀裂には外用液を使用しないでください。
- 目には使用しないでください。
- お薬を使っていて赤くなる、かゆくなるなど何か変だと感じた時は使用を中止し、主治医または薬剤師に相談してください。



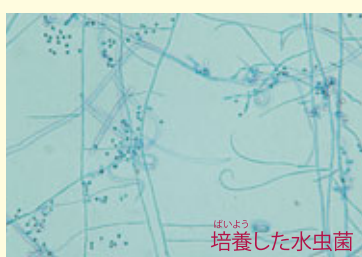
主治医からやめてよいと言われるまで塗り続けましょう。



顕微鏡でみた水虫菌



角層中の水虫菌



培養した水虫菌

水虫菌(白癬菌)は角層に潜んでいます。角層がアカとなってはがれるまで1~2カ月かかります。きれいになっても、1~2カ月はお薬を塗り続けましょう。